

令和元年度国保国吉病院組合事業決算

概況

総括事項

本年度の医師数の状況は、内科医師6名、千葉県の医師不足病院医師派遣促進事業を利用した東邦大学医療センター佐倉病院から派遣の内科医師1名、千葉大学寄附講座等との連携による派遣の内科医1名、外科医師2名、老人保健施設医師1名の11名体制と、昨年度当初より2名増でのスタートすることとなりました。

看護師につきましては、昨年度当初59名だったところ、懸命な確保努力により、本年度は77名でのスタートすることとなりました。看護師不足により休止していた4階病棟の一部を昨年度3月より再開し、本年度7月には一般病床80床で運営しております。また9月より一般病床の内、22床を地域包括ケア病床へ転換。それらにより病床稼働率も上昇し入院収益増となっております。

引き続き、看護師確保には重点的に取り組み、業務環境改善や、紹介業者の利用等あらゆる方法で、確保に努め、早期に病棟を全面稼働させ、患者数を増やすよう努めてまいります。

また、訪問看護ステーションサービスの提供も行っており、地域の医療機関やケアマネジャーとも連携しながら、在宅医療の充実にも努めています。

ア 資本的収支

本年度の資本的収入及び支出の状況は、免疫自動分析装置、自動採血管準備装置、寝浴型特殊入浴装置等の器械備品の購入を行い、金額は40,758千円となりました。

その他企業債償還元金202,449千円を含め、資本的支出の総額は251,216千円となりました。

これらは企業債、他会計負担金、他会計補助金、内部留保資金を基に購入しました。

イ 収益的収支

収益的収入及び支出の状況は、損益計算書、貸借対照表に示したとおりです。

入院収益は、前年比38.7%の増となり、外来収益は、0.1%の減となり、訪問看護ステーション収益は、-5.2%の減となり、医業収益全体としては、16.5%の増となりました。介護老人保健施設収益については、-1.0%の減となりました。また特別利益として23,583千円が計上されております。

医業費用は、前年比10.4%の増となり、医業外費用は、4.0%の減となりました。介護老人保健施設費用については、2.4%の増となりました。また特別損失として6,270千円が計上されております。

その結果、本年度は、純損失324,004千円となり、当年度未処理欠損金は2,531,771千円となりました。

令和元年度損益計算書

(単位:円)

医業収益	1,970,229,099
(1) 入院収益	962,709,100
(2) 外来収益	774,344,567
(3) その他医業収益	59,817,892
(4) 他会計補助金	142,084,000
(5) 介護保険事業収益	31,273,540
医業費用	2,507,655,460
(1) 給与費	1,611,753,469
(2) 材料費	319,034,154
(3) 経費	338,953,632
(4) 減価償却費	229,262,781
(5) 資産減耗費	4,566,341
(6) 研究研修費	4,085,083
医業損失	537,426,361
医業外収益	397,193,530
(1) 受取利息及び配当金	25,315
(2) 他会計補助金	218,017,000
(3) 負担金及び交付金	3,483,000
(4) 患者外給食収益	702,431
(5) 長期前受金戻入	161,107,866
(6) その他医業外収益	13,857,918
医業外費用	128,995,945
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	55,722,185
(2) 患者外給食材料費	581,180
(3) 雑損失	62,772,580
(4) 長期前払消費税勘定償却	9,920,000
介護老人保健施設収益	435,682,702
(1) 入所収益	370,978,814
(2) 短期入所収益	13,585,237
(3) 通所収益	34,432,601
(4) 他会計補助金	11,082,000
(5) 長期前受金戻入	3,739,387
(6) 事業外収益	1,864,663
介護老人保健施設費用	507,770,160
(1) 給与費	389,308,386
(2) 材料費	9,026,980
(3) 経費	82,813,912
(4) 減価償却費	18,984,943
(5) 資産減耗費	15,000
(6) 研究研修費	258,291
(7) 支払利息及び企業債取扱諸費	7,362,648
特別利益	
(1) 固定資産売却益	23,582,765
特別損失	
(1) 固定資産売却損	6,270,221
当年度純損失	324,003,690
前年度繰越欠損金	2,207,767,292
当年度未処理欠損金	2,531,770,982

令和元年度貸借対照表

(令和2年3月31日)

(単位:円)

借方(資産の部)		貸方(負債の部、資本の部)	
資産の部		負債の部	
固定資産		固定負債	
有形固定資産		企業債	2,883,707,759
土地	94,638,865	企業債合計	2,883,707,759
建物	3,014,986,008	固定負債合計	2,883,707,759
建物減価償却累計額	△ 908,221,310	流動負債	
建物附属設備	2,218,845,000	企業債	208,017,367
建物附属設備減価償却累計額	△ 1,458,029,326	未払金	128,445,668
構築物	156,511,571	引当金	
構築物減価償却累計額	△ 111,149,845	賞与引当金	97,916,672
器械備品	1,378,131,342	その他引当金	18,019,567
器械備品減価償却累計額	△ 1,172,322,912	引当金合計	115,936,239
車両	15,296,079	その他流動負債	423,282
車両減価償却累計額	△ 11,770,949	流動負債合計	452,822,556
有形固定資産合計	3,216,914,523	繰延収益	
無形固定資産		長期前受金	
電話加入権	261,800	補助金	1,432,385,000
ソフトウェア	38,127,510	負担金及び交付金	80,443,000
無形固定資産合計	38,389,310	寄附金	300,000
投資その他の資産		長期前受金合計	1,513,128,000
長期前払消費税	86,561,784	長期前受金収益化累計額	
その他投資	9,098,560	補助金	△ 1,014,530,311
投資その他の資産合計	95,660,344	負担金及び交付金	△ 70,445,801
固定資産合計	3,350,964,177	寄附金	△ 285,000
流動資産		長期前受金収益化累計額合計	△ 1,085,261,112
現金預金	261,759,710	繰延収益合計	427,866,888
未収金	460,418,462	負債合計	3,764,397,203
未収金貸倒引当金	△ 513,920		
貯蔵品	8,251,412	資本の部	
流動資産合計	729,915,664	資本金	
資産合計	4,080,879,841	資本金	
		固有資本金	16,952,000
		出資金	2,824,761,620
		資本金合計	2,841,713,620
		剰余金	
		利益剰余金	
		減債積立金	6,540,000
		当年度未処理欠損金	2,531,770,982
		利益剰余金合計	△ 2,525,230,982
		剰余金合計	△ 2,525,230,982
		資本金合計	316,482,638
		負債資本合計	4,080,879,841